

第1学年 国語科学習指導案

平成27年12月2日(水) 5校時

授業者 T 1

T 2

T 3

1. 単元名 登場人物の好きなどころを紹介しよう
教材文「おとうとねずみチロ」 東京書籍1下

2. 単元の目標

- いろいろな物語に興味をもち、楽しんで読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 人物の行動や様子を想像しながら読み、人物の好きなどころをみつけ紹介する。(読む能力)
- 様子や気持ちを表す言葉に気をつけて読む。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
○いろいろな物語に興味を持ち、楽しんで読もうとしている。	○人物の行動や様子を想像しながら読む。(ウ) ○人物の好きなどころを見つけている。(オ) ○紹介したい本を選んで読む。(カ)	○様子や気持ちを表す言葉に気をつけて読む(イ【ウ】)

4. 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として、「C読むこと」の言語活動例「オ読んだ本について、好きなどころを紹介すること」を具体化し、「お話玉手箱」を作って、本の内容を簡単に紹介したり、人物の好きなどころを紹介したりする活動を位置付ける。

「お話玉手箱」は、箱の中に、登場人物やお話の中で重要な役割をもつ小物、人物の好きなどころを紹介する紹介カードなどを入れたものである。

「登場人物の好きなどころを見つけて読む」という場を設定した上で、単元を通して場面の様子について登場人物の行動や会話などに着目して想像を広げて読むことを繰り返し位置付けていくことで、読む力を養っていくことができると考える。

ペープサートなどを大変好む本学級の児童にとって、お話玉手箱は大変魅力的であり、さらに自分のお話玉手箱を作ることに対しては意欲的に取り組むことができる言語活動であると考えている。

5. 学習の基盤

○本単元は、学習指導要領 C 読むこと (1) ウ「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」オ「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表しあうこと。」カ「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」を受けた内容であり、物語を読み、登場人物の行動や会話に着目して読む指導を行う。また、(C) 読むことの指導を通して、国語の特質に関する事項の(ウ)「言葉には、意味による語句のまとまりがあること」についても指導を行う。

本教材は、主人公チロの行動や会話に気持ちの変化が素直に表れていて、1年生の児童が様子を想像しながら読むのにふさわしい物語である。チロになったつもりで行動を動作化したり、会話を音読したりしながら、物語の叙述を注意深く読み、場面の様子を豊かに想像する力を養っていくことができる教材である。

○本単元では、人物の様子や気持ちに気をつけて、物語を読む力をつけるとともに、いろいろな物語へと読み広げていくことで、楽しんで読書しようとする態度を育てていきたい。そのために、始めに学習の見通しがもてるように、お話玉手箱を教師が示し、これから取り組む内容をはっきりさせ、意欲をもたせたい。担任、司書教諭、学校司書の3人で協力してお話玉手箱作りや図書の用意を行い、児童が学習意欲を持続し、学習活動に主体的に取り組めるような学習環境を整えていく。

実際の学習ではお話玉手箱を作るために、教材の読み取りをし、登場人物の好きなところを見つけしていく。ワークシートを活用し、場面ごとの登場人物の様子や気持ちを読み取る。その際、手掛かりとなる言葉を探しながら読み取ったり、順序に気をつけて読み取ったりする。最後に紹介カードに登場人物の好きなところを書き、おとうとねずみチロのお話玉手箱を完成させていく。おとうとねずみチロで学んだことを元に他の本を読み、自分でお話玉手箱作りに取り組み、最後にお話玉手箱をつかって登場人物の好きなところを発表しあうことで、他の本への興味を広げていきたい。

6. 単元の指導計画と評価規準（全17時間）

次	時	目標	主な学習活動	評価			
				関	読	言	評価規準（評価方法）
1	1 (本時)	学習の見通しをもち、物語への興味や読書への意欲をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・お話玉手箱を紹介する。 ・いろいろな本に関心をもつ。 ・おとうとねずみチロを読み、登場人物について感想を話し合う。 	○			登場人物について感想を発表し、これからの学習への意欲をもつことができる。(発言・ワークシート)
	2	自分が紹介したい本を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や学校司書が選書した本の中から、紹介したい本を選ぶ。 ・朝読書の時間に本を読み進める。 	○			いろいろな図書の中から本を選ぶことができる。(発言・行動)
2	3	物語を通読し、物語の大体をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を使い、物語の流れを確認する。 		○		物語を通読し、物語の大体をつかむことができる。(発言・ワークシート)
	4	手紙を受け取った時のチロの気持ちを想像しながら読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の内容を読み取る。 ・手紙を読んだ時の3人の気持ちを吹き出しに書く。 		○		手紙を受け取った時のチロの気持ちを想像しながら読むことができる。(ワークシート)
	5	心配になった時のチロの様子や気持ちを考えて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・チロの表情や気持ちをワークシートに記入する。 		○		心配になった時のチロの様子や気持ちを考えて読むことができる。(ワークシート)
	6	いいことを思いついた時のチロの様子や気持ちを考えて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・いいことを思いついた後のチロの行動を動作化する。 ・表情の変化からチロの気持ちを考えて吹き出しに書く。 		○		いいことを思いついた時のチロの様子や気持ちを考えて読むことができる。(動作化・ワークシート)
	7	おばあちゃんに呼び掛けている時のチロの様子や気持ちを考えて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・チロの動きを動作化する。 ・チロのとった行動について感想を書く。 		○		おばあちゃんに呼び掛けている時のチロの様子や気持ちを考えて読むことができる。(動作化・ワー

						クシート)	
	8	チョッキが届いた時の3人の気持ちを考えて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・小包の中身を確認する。 ・3人のチョッキを描く。 ・チロのうれしい気持ちが伝わるように読む。 		○	チョッキが届いた時の3人の気持ちを考えて読むことができる。(ワークシート・音読)	
	9	おばあちゃんにお礼を言うチロの様子や気持ちを考えて読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・チロの行動を動作化する。 ・チロの気持ちを吹き出しに書く。 		○	おばあちゃんにお礼を言うチロの様子や気持ちを考えて読むことができる。(動作化・ワークシート)	
	10	紹介カードを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介カードの書き方を知る。 ・登場人物の好きなところを話し合う。 ・紹介カードを書く。 		○	好きな人物の好きなところを紹介カードに書くことができる。(紹介カード)	
3	11	選んだ本に出てくる人物の好きなところを見つけながら読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・選んでおいた本を再度読み直す。 ・紹介する人物を決める。 		○	登場人物の好きなところを見つけながら読むことができる。(行動)	
	12 13 14 15	お話玉手箱を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物 ・小物 ・紹介カード ・背景等 		○	○	お話玉手箱を作ることができる。(作品)
4	16 17	お話玉手箱を使って、好きな登場人物を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本のあらすじを説明する。 ・好きな登場人物を紹介する。 ・友達の発表を聞いて感想を発表する。 		○	○	お話玉手箱を使って、登場人物の好きなところを発表することができる。(発表)

7. 本時の学習

(1) ねらい お話玉手箱を作って、登場人物の好きなどころを紹介するという、今後の学習への意欲をもつことができる。

(2) 本時の展開 (1/17)

時間	学習活動	教師の支援 (・)・評価 (☆)		
		(T1)	(T2)	(T3)
10	<p>1. これまでに学習してきた物語のお話玉手箱を見ながら、登場人物について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サラダでげんき ○かいがら (お話玉手箱の紹介) ・くまのこが女の子に一番好きな貝がらをあげたところ 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話玉手箱のモデルを見せながら話をし、お話玉手箱への関心を高める。 		
25	<p>めあて お話玉手箱を作って、登場人物の好きなどころを紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○他の本にはどんな人物が登場しているか紹介してもらおう。(T2) ・「人物」という言葉の説明 <p>2. 全文を通読し、感想を伝え合う。</p> <p>登場人物を確かめながら、物語を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「おとうとねずみチロ」の範読を聞く。(T2.3) ○登場人物を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ○登場人物について感想を発表する。 ・チロ ・にいさんねずみ ・ねえさんねずみ 			
10	<p>3. これからの学習の見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お話玉手箱には、何を入れたらよいか確認をする。 ・「おとうとねずみチロ」のお話玉手箱をみんなで作ることを伝える。 ・好きな本を選び、お話玉手箱を作って、登場人物の好きなどころを紹介することを伝える。 ○振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の発言をもとに学習計画表をたてていく。 		

☆登場人物について感想を発表し、これからの学習への意欲をもつことができる。(発言・ワークシート)

(3) 本時の評価

	十分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする児童への指導の手立て
読む	登場人物の行動や会話について感想をもち、発表することができる。	登場人物について感想を発表することができる。	挿絵を見ながら登場人物を確認し、行動や会話をおさえる。
態度 関心・ 意欲・	お話玉手箱作りに関心をもち、今後の学習の見通しをもつ。	お話玉手箱に関心をもち、何を作ればよいかわかる。	お話玉手箱の中身を一緒に確認をする。

(4) 研究の視点

- お話玉手箱を言語活動に取り上げたことは、いろいろな物語に興味をもち、楽しんで読もうとする児童の意欲を高める上で効果的であったか。
- 他の読み物資料を準備し、紹介したことは読書への興味を広げることにつながったか。